

Chopin & Chopin

プレイエル(1843年)・
スタインウェイ(1887年)による
ショパン & ショパン

江口玲 & 川口成彦 ピアノリサイタル

プレイエル(1843年製)

～ショパン33歳の時に作られたプレイエル、
そしてホロヴィッツが愛した1887年製スタインウェイ、
ヴィンテージ楽器2台で描くリアルなロマン派の景色～

江口玲《スタインウェイ》

マズルカ Op.Posthumous 変ロ長調
Op.7-1、Op.7-3、Op.17-4、Op.30-3、Op.41-1、Op.41-2、Op.59-2、Op.63-2
英雄ポロネーズ Op.53
ミウオフスキ/ショパンの仔犬のワルツによるパラフレーズ

川口成彦《プレイエル》

春 Op.74-2、2つのポロネーズ Op.26
エチュード Op.10-3、9、12、エチュード Op.25-1、5、10
ラルゲット(《ピアノ協奏曲第2番》より)

連弾《プレイエル》

4手のための変奏曲 二長調

ローズウッドスタインウェイ(1887年製)

2022年

3月10日(木)

開演18:30(開場17:45)

行徳文化ホール&I

市川市末広1-1-48
東京メトロ東西線行徳駅より徒歩7分

全席指定(税込) 一般3,000円 大学生以下1,500円

ローズメンバーズ 一般のみ500円引

電子チケット
teket(テケト)

右の二次元コードを読み取って
購入ページにお進みください。



プレイガイド

チケット発売 1月9日(日)10:00～

【発売日初日】

★市川市文化会館(仮)事務所 TEL 047-393-7111(特別電話)
★財団公式HP <https://www.tekona.net/gyotoku/>
※発売日初日は特別電話がWEBのみの受付(店頭販売はございません)

【発売日翌日以降】

★市川市文化会館(仮)事務所 TEL 047-379-5111
★行徳文化ホールI&I TEL 047-701-3011
★芳澤ガーデンギャラリー TEL 047-374-7687
★財団公式HP <https://www.tekona.net/gyotoku/>
・電子チケットサービスteket(テケト)

【発売日初日・翌日以降】

・チケットぴあ(Pコード:209-613) TEL 0570-02-9999 <https://t.pia.jp/>

★はローズメンバーズ割引取り扱いプレイガイド

※未就学児入場不可。お車でのご来館はご遠慮ください。 ※曲目は変更する場合がございます。
※「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に基づき、通常座席数を使用しての隣席を空けない配席で開催いたします。
皆様に安心してご鑑賞いただけるよう、ご来場の際はマスクの着用等の感染症対策にご協力をお願いいたします。

主催・問:(公財)市川市文化振興財団 TEL 047-379-5111 <https://www.tekona.net>

【市川市文化会館(仮)事務所内】 〒272-0023 千葉県市川市南八幡3-12-21 MC本八幡5F



江口 玲 / EGUCHI Akira

東京藝術大学付属音楽高校を経て東京藝術大学音楽学部作曲科を卒業、その後ジュリアード音楽院のピアノ科大学院修士課程、及びプロフェッショナルスタディーを修了。1992年に大成功をおさめたアリストラーホールでのニューヨークデビューリサイタル以来、アメリカ、ヨーロッパ、アジアでの主要演奏会場にて演奏を続けてきた。ニューヨークタイムズ紙からは「非凡なる芸術性、円熟、知性」「流暢かつ清廉なるピアニスト」と賞賛され、これまでにカーネギーホールをはじめ、演奏で訪れた国は25ヶ国に及ぶ。欧米及び日本をはじめとするアジア各国でのリサイタルや室内楽、協奏曲などで活躍しているほか、ギル・シャハム、アン・アキコ・マイヤース、諏訪内晶子、竹澤恭子、渡辺玲子など、数多くのヴァイオリニストたちと共演している。レコーディングはドイツグラモフォン、フィリップス等で計60枚以上のCDを録音、NYS CLASSICSよりリリースされている14枚のソロアルバムも、「レコード芸術」誌で特選盤に連続選出されるなど、高い評価を得ている。2011年5月まで、ニューヨーク市立大学ブルックリン校にて教鞭を執る。現在、東京藝術大学ピアノ科教授、及び洗足学園音楽大学大学院客員教授を務めるほか、ニューヨークと日本を往来して演奏活動を行っている。

オフィシャル・ウェブサイト <https://www.facebook.com/Pianist.Akira.Eguchi/>

川口 成彦 / KAWAGUCHI Naruhiko

1989年に岩手県盛岡市で生まれ、横浜で育つ。第1回ショパン国際ピリオド楽器コンクール第2位、ブルージュ国際古楽コンクール最高位。フィレンツェ五月音楽祭や「ショパンと彼のヨーロッパ」音楽祭(ワルシャワ)をはじめ欧州の音楽祭にも出演を重ねる。協奏曲では18世紀オーケストラ、{oh!} Orkiestra Historyczna などと共演。2018年にはロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団のメンバーと共に室内楽形式によるピアノ協奏曲のリサイタルをオランダにて開催。またモダンピアノでは2016年にアメリカにて世界的オーボエ奏者ニコラス・ダニエルと共にプーランクの『オーボエ、バソーンとピアノのための三重奏曲』の最終稿の世界初演を行っている。東京藝術大学/アムステルダム音楽院の古楽科修士課程修了。フォルテピアノを小倉貴久子、リチャード・エガーの各氏に師事。第46回日本ショパン協会賞受賞。第31回日本製鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞受賞。CDは『ゴヤの生きたスペインより』(MUSIS, レコード芸術/朝日新聞特選盤)などを発表している。



ショパン33歳の時に作られたプレイエル、
そしてホロヴィッツが愛した1887年製スタインウェイ、
ヴィンテージ楽器2台で描くリアルなロマン派の景色



プレイエル (1843年製) タカギクラヴィア所蔵

2018年度ショパン国際ピリオド楽器コンクール認定楽器。
フォルテピアノは構造的に強度不足で華奢なため、コンサートコンディションで現存する楽器は少ないが、このNo.10456はほぼオリジナル状態を保つ貴重な楽器である。
1807年にフランス・パリで創業されたプレイエル社。古典的なウィーン式を改良したシングルアクションは構造が単純で、鍵盤の先に弦を叩くハンマーを直接押し上げる部品が取り付けられているだけで、弦楽器のように指先の繊細な表現を伝えやすい。また鍵盤が軽く柔らかい音色を持ち、ピアノシムでの音色の変化が美しい。

ローズウッドスタインウェイ (1887年製) タカギクラヴィア所蔵

非常に美しいローズウッドのボディを持つ1887年製のニューヨーク・スタインウェイ。カーネギーやメトロポリタンホール創立当時より1925年まで貸出用のコンサートピアノとして活躍していた楽器である。その後日本に渡り、ある時期キャピタル東急ホテルに所蔵されていた。そして1986年、ホロヴィッツが2度目に来日した際、このホテルに滞在し、実際にこのピアノを弾いて絶賛したという記録と写真が残っている。曲によって様々に変わる表情、豊かな倍音、弱音の表現力など、ロマンティズムとエンターテインメントが共存していた時代を彷彿とさせる深い味わいは、今のピアノでは決して表現できないだろう。

